



# むこせ慎一の 5つの改革プラン

## 1 県民のいのちと暮らし、地域経済を支える県政へ



物価高騰、コロナ禍での県民の暮らしの深刻さは、国の新自由主義路線があります。国の政治の防波堤となり、県民のいのちと暮らしを守ることは、県政の一番の仕事です。

むこせ慎一は、18年の西日本豪雨、20年7月豪雨、21年7、8月の豪雨など、被災の自治体を訪問。被災者の声を聞き、支援活動に懸命に取り組みました。政府交渉にもたびたび出向きました。



江の川下流域自治体で要望を聞く



被災地の議員らと政府交渉

- 医療・保健所体制の充実、中小企業支援とセットで最低賃金の引き上げ
- 看護師や介護福祉士、保育士などエッセンシャルワーカーの処遇改善
- 年金削減ストップ、消費税5%減税、インボイス制度の中止
- 国民健康保険料(税)の引き下げ、介護保険の負担軽減、水道料金値上げストップ
- 米価下落対策、畜産農家への緊急支援、農林水産業の再生
- 子ども食堂へさらなる支援を
- 予期せぬ自然災害に備え、防災・減災対策を最優先に

## 2 原発ゼロ・気候危機打開を島根から

- 島根原発2号機の再稼働同意は撤回
- 省エネ対策・再エネ促進で、新たな産業と雇用の創出を



### 原発は高コスト電源——政府も否定できず

福島原発事故以降、原発が高コスト電源であることが露わに。事故前の政府試算では、原発は1kWあたり5.9円とされていましたが、21年8月の試算では、原発は11.7円以上となり、太陽光発電(事業用8.2円~11.8円。住宅用8.7円~14.9円)や、風力発電(陸上9.9円~17.2円)よりも高くなっています。

## 3 子育て応援3つのゼロ。教育環境の改善を

- ★ 18歳までの医療費ゼロ
  - ★ 学校給食費ゼロ
  - ★ 0~2歳児も保育料ゼロ
- 無料 > 0に!
- 少人数学級の推進、教員の多忙化解消
  - 学費など教育の負担軽減
  - 給付型奨学金制度の抜本的拡充



## 4 ジェンダー平等を実現し、誰もがいきいき輝く島根に



- 選択的夫婦別姓、男女の賃金格差の是正
- あらゆる性暴力から県民を守る
- 公共施設のトイレに生理用品を常備
- 県政の意思決定の場に女性を増やし、あらゆる政策決定にジェンダーの視点を

だれもが自分らしく  
GENDER EQUALITY

ジェンダー平等社会へ  
いまこそ政治の転換を

詳しくは



## 5 税金の使い方を暮らし最優先に 国の政治にもしっかり発言

- 松江北道路建設(約250億円)の見直し・中止
- 米軍機の低空飛行訓練中止、美保基地の軍備機能強化反対
- 地域交通の充実。生活道路などインフラ整備
- 各層運動団体、市民団体との懇談を定期的に行う
- 県民の立場で国の政治に「NO」と発言

